

～高齢者向け弁当業界初の試み～

パルプモールドを使用し内嵌合容器を紙化^{うちかんごう}

プラスチックを使用しない環境配慮型のおかず容器で高齢者向け宅配弁当を提供 高齢者が持ちやすく食べやすいような形の工夫も

株式会社シニアライフクリエイト（本社：東京都港区、代表取締役：高橋洋）は、サステナビリティへの対応及びSDGsへの取り組みの必要性を重視する中、プラスチックの使用量削減を目的としたお弁当容器の紙化に取り組み、パルプモールド^{※1}を使用した内嵌合（うちかんごう）紙容器を新たに開発いたしました。当社が展開する高齢者専門宅配弁当サービス『宅配クック ワン・ツウ・スリー』において、2023年4月より順次導入いたします。



パルプモールドを使用した内嵌合紙容器(左:おかず容器、右:ごはん容器)



～SDGsの目標に対する取り組み～

- 12. つくる責任 つかう責任
- 14. 海の豊かさを守ろう

◆高齢者向け弁当業界初！環境に配慮しパルプモールドを使用した内嵌合容器を開発

パルプモールドを使用した内嵌合容器の開発は、地球資源の枯渇、地球温暖化、海洋汚染などの原因の一つとされているプラスチックを原材料としない、環境に配慮した容器の使用という、高齢者向け弁当業界初の取り組みとなります。

パルプとは、紙をつくる元となる植物繊維のことで、今回は植林の段階から管理された木材を材料にして製造したバージンパルプを使用しています。開発した弁当容器は内嵌合設計^{※2}で、パルプモールド製ながら強い嵌合性を持ち、バイクなどでの配達でも汁漏れしにくい強度を実現しています。また、以前より『宅配クック ワン・ツウ・スリー』で使用しているプラスチックの弁当容器と同様に、サービスを利用する高齢者が片手で持ちやすいよう軽さを重視すると共に、蓋の四隅の耳部分をつまみやすくし、容器の底になだらかな角度と丸みを持たせるなどして、開けやすさやスプーンでのすくいやすさにも工夫を施しました。

※1 パルプモールド…紙をつくる元となる繊維からできた成形品

※2 内嵌合設計…容器の内側で蓋と容器がはまる設計

◆『宅配クック ワン・ツウ・スリー』で販売する新弁当の容器として順次導入

今回開発した新たな弁当容器は、高齢者専門宅配弁当サービス『宅配クック ワン・ツウ・スリー』において、2023年4月から一般販売予定のたんぱく質の摂取に特化した「幸(しあわせ)たんぱく食」の容器として順次導入を開始いたします。「幸たんぱく食」は、食べ残さない量でたんぱく質20g以上^{※3}を必ず摂取できる、介護予防や低栄養予防を目的とする方向けのお弁当です。口腔機能の維持にも配慮し、咀嚼力の低下を防ぐため、噛み応えのある食材を一部使用しています。



幸たんぱく食

※3 1日に必要なたんぱく質の基準量 60g の 1/3 以上(当社基準)

【新・弁当容器の導入】概要

- 使用開始時期：2023年4月1日(土)から順次導入
- 導入容器：「幸(しあわせ)たんぱく食」のおかず・ご飯容器
- 提供店舗：『宅配クック ワン・ツウ・スリー』全店舗(354店舗/2023年2月15日時点)

【『宅配クック ワン・ツウ・スリー』について】～お客様のニーズと地域貢献の両立を目指して～

高齢者専門宅配弁当サービス『宅配クック ワン・ツウ・スリー』のお弁当は、管理栄養士が栄養バランスを考慮して献立を作成し、エネルギーやたんぱく質をしっかりと摂取することができます。前日 18 時まで注文やキャンセルを受け付けており、ケアプランや生活スタイルに合わせた利用ができるよう曜日別の注文が可能な他、口腔状態に合わせて刻み対応やおかゆへの変更も無料で行っています。また、各地域で行き場を失う食材に着目し、地産地消ではなく『地産外商』としてその地域で採れた食材を全国で消費することによって、地域経済の振興と宅配弁当メニューの多様化の実現を目指しています。地域で採れる農産物や魚介類を『宅配クック ワン・ツウ・スリー』の献立メニューに取り入れて全国にお届けすることは、安定した流通量を確保するだけでなく、流通量確保に伴う地域の農業・漁業の活性化やフードロス削減、農業と福祉を融合した農福連携や過疎地域の応援、震災被害に遭った地域の復興支援など、食事を通じた地域貢献を目的としています。今後も、ただお弁当を配達することに留まらない、“ご馳走の日”や『地産外商』をはじめとした心を豊かにする取り組みを行うことで、高齢者の健康寿命延伸に努めてまいります。

～SDGsの目標に対する取り組み～

- 8. 働きがいも経済成長も
- 9. 産業と技術革新の基盤をつくる
- 12. つくる責任 つかう責任
- 17. パートナーシップで目標を達成しよう



【会社概要】

会社名：株式会社シニアライフクリエイト

代表：代表取締役 高橋 洋

本社：東京都港区三田 3 丁目 12 番 14 号 ニッテン三田ビル 6F

電話番号：03-5427-3981

ホームページ：<https://slc-123.co.jp/>

設立：1999年12月

資本金：28,000万円

- 事業内容：1) 高齢者専門宅配弁当「宅配クック ワン・ツウ・スリー」フランチャイズ本部の運営
2) 高齢者施設向食材卸事業「特助くん」の運営
3) 高齢者向コミュニティサロン「昭和浪漫倶楽部」の運営
4) 高齢者施設向厨房受託事業「結の台所」の運営
5) 個人向通販事業「健康直球便」の運営

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社シニアライフクリエイト 担当：波瀬・鈴木

TEL：03-5427-3985(直) FAX：03-5427-3987

『宅配クック ワン・ツウ・スリー』のさまざまな取り組み

◆今日も利用者に「会いに行く」配達だけではない地域高齢者見守り活動を創業時より実践

高齢者専門宅配弁当『宅配クック ワン・ツウ・スリー』は、現在全国で354店舗展開しており、月間約300万食を提供しています(2023年2月15日時点)。店舗では、在宅の高齢者を中心に、宅配時の手渡しによる見守り・安否確認を創業時より実践しており、昼食・夕食を別々に届け1日2回訪問することで、より顧客に近い存在となるべく努めています。また、お届けの際に倒れているなどの異常が発見された場合には、速やかにケアマネジャーやご家族と連動する地域密着型の独自のサービスを展開しています。



◆「オレンジリング」ネットワーク 社員、フランチャイズオーナーが「認知症サポーター」

当社の数ある研修の1つに「認知症サポーター養成講座」があります。社員はもちろんのこと、店舗を運営するフランチャイズオーナーも受講し、その証として「オレンジリング」をつけています。認知症への理解を深めることで、地域高齢者やご家族の手助けとなれるよう取り組みを続けていきます。



オレンジリング

◆行政との連携を推進

当社では、全国74箇所の地方自治体と高齢者の見守りに関する協定を締結しています(2023年2月15日時点)。

都道府県	締結数	締結先
北海道	3箇所	小樽市、北見市、釧路市
岩手県	2箇所	北上市、花巻市
青森県	2箇所	八戸市、青森市
茨城県	6箇所	東海村、水戸市、龍ヶ崎市、下妻市、古河市、ひたちなか市
栃木県	1箇所	さくら市
埼玉県	3箇所	さいたま市、ふじみ野市、上里町
千葉県	10箇所	千葉県、市川市、船橋市、習志野市、市原市、佐倉市、四街道市、柏市、我孫子市、白井市
東京都	11箇所	東大和市、小平市、立川市、狛江市、品川区、羽村市、瑞穂町、練馬区、多摩市、世田谷区、小金井市
神奈川県	4箇所	綾瀬市、大和市、座間市、厚木市
山梨県	1箇所	甲府市
長野県	2箇所	駒ヶ根市、諏訪市
新潟県	1箇所	見附市
石川県	1箇所	石川県
福井県	1箇所	坂井市
岐阜県	1箇所	多治見市
静岡県	3箇所	三島市、伊豆市、裾野市
愛知県	8箇所	大府市、東浦町、刈谷市、豊山町、あま市、犬山市、碧南市、岡崎市
三重県	1箇所	津市
滋賀県	2箇所	草津市、高島市
大阪府	2箇所	交野市、寝屋川市
兵庫県	5箇所	兵庫県、明石市、西宮市、加古川市、稲美市
山口県	1箇所	山口市
広島県	1箇所	呉市
香川県	1箇所	高松市
長崎県	1箇所	五島市